

事業番号	06 02 03	事業改善シート（令和2年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	地球温暖化適応策推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課
		実施期間	H27～	E-mail	kankyo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	再生可能エネルギー100%地域をめざし自給率を上昇				
総合的に展開する重点政策	4-5 地球環境への貢献				

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】
	・既に県内でも気候変動の影響が発現し始めており、緩和策とともに適応策の推進が必要。 ・適応策の推進にあたっては、気候変動による幅広い分野への将来的な影響を詳細に把握していないことと、影響に応じた適応技術（施策）が開発（立案）されていないことがボトルネック。
	【目指す姿】
	・気候変動適応法に規定される地域気候変動適応センターにおいて、既存の信州・気候変動モニタリングネットワーク及び信州・気候変動適応プラットフォームを包括し取組を強化することで、各主体における適応策の創出を促し、気候変動の影響による県民生活や自然環境等への被害を最小化あるいは回避する。
	【実施内容】
	都市・山岳部の気象観測・データ収集、気候変動予測・影響分析、予測・分析結果の情報共有、適応策に係る課題の検討。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]							事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況		前年度繰越	0	0	
1	気候変動を予測するための気象情報の収集地点数(累計)	173地点	364地点	↑	367地点	↑	311地点	達成	現計予算	37,771	38,300
2									合計(A)	37,771	38,300
3									うち一般財源	0	6,962
4									決算額(B)	34,577	35,367
									職員数(人)	6	6

成果指標設定理由	適応策の検討には精度の高い予測が重要。気温、降水量などの気象情報の収集数は気候変動の予測精度の向上に大きく寄与するため。
----------	--

達成状況の分析	山岳地帯等への気象観測装置の設置を行うことにより、気象情報収集地点が順調に増加し、目標を達成した。
---------	---

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 信州気候変動適応センターにおける取組(H31.4設置) 気候変動に関する情報の収集・分析・提供を行い、適応策の創出を支援</li> <li>✓ 産・学・官連携で適応策を推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・信州・気候変動モニタリングネットワーク 環境保全研究所が中心となり、都市・山岳部の気象観測・データ収集及び気候変動予測・影響分析を実施</li> <li>・信州・気候変動適応プラットフォーム 適応技術(施策)の開発(立案)を促進するため、観測・分析結果の情報共有及び適応策に係る課題の検討を実施</li> </ul> </li> </ul>	

## 2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	・気候変動の影響を最小限に抑えるためには、気候変動のリスク情報を県民と共有し、各主体における適応策の実行を促進していく必要がある。	・信州気候変動適応センターを中心に、気候変動の実態や影響を継続的にモニタリングするとともに、令和3年度に策定する気候変動適応計画の内容を分かりやすく情報発信することにより、各主体による適応策の実行を促進していきます。

事業番号	06 02 03	細事業一覧（令和2年度実施事業分） <input type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	地球温暖化適応策推進事業費	部局	環境部	課・室	環境政策課

細事業 No.	細事業名		R 1 年度 決 算	R 2 年度 決 算
1	地球温暖化適応策推進事業		34,577 千円	35,367 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	・気候変動影響を把握 ・適応技術（施策）の開発（立案）を促進	直接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候変動影響の把握のため、信州・気候変動モニタリングネットワークにおいて都市・山岳部の気象観測・データ収集及び気候変動予測・影響分析を実施</li> <li>・適応技術（施策）の開発（立案）を促進するため、信州・気候変動適応プラットフォームにおいて、観測・分析結果の情報共有及び適応策に係る課題の検討を実施</li> <li>・信州気候変動適応センターのホームページ上に気象観測データを視覚的提供するコンテンツを追加</li> </ul>	
2	環境保全特別研究員等の配置	直接	適応を専門に行う行政嘱託職員及び非常勤職員を配置	